

令和6（2024）年度 国語科 評価・評定について

【国語科の目標】 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し，伝え合う力を高めるとともに，思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにする。その上で自分自身の生き方を見つけていくことを目標とする。
国語科では次の3つの観点で，国語の力を評価します。

観点	評価の方法	評価規準
知識・技能 （旧言語事項）	漢字や文法の小テストや総合考査の結果，書写においては提出された清書などで判断します。	表現と理解に役立てるための音声，語句，語彙，文法，漢字等について理解し，知識を身に付けている。書写では，文字を正しく整えて書く。
思考・判断・表現 （旧話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと）	授業中での話し合い活動の取り組み方や内容および，聞き取りテストの結果，スピーチなどで判断します。	自分の考えを豊かにしたり深めたりして，目的や場面に応じ，筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
	授業で作成する作文やレポートの内容，および，総合考査の結果などで判断します。	自分の考えを豊かにしたり深めたりして，相手や目的に応じ，筋道を立てて適切に文章に書く。
	授業のノート・プリント・発表の内容，および総合考査の結果などで判断します。	目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。
主体的に学習に取り組む態度 （旧関心・意欲・態度）	ノート・ワーク・プリントなどの提出物の内容および，授業中に積極的に正しい態度で発表したり聞いたり書いたりできているかなどで判断します。	国語に対する関心を深め，国語を尊重し，進んで表現したり理解したりするとともに，伝え合おうとする。

以上の【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点について，それぞれA，B，Cの3段階で評価します。

- A…観点のねらいの実現状況が十分に満足すると判断されるもの（70％以上の達成度である）
B…観点のねらいの実現状況が満足すると判断されるもの（30％以上、70％未満の達成度である）
C…観点のねらいの実現に努力を要すると判断されるもの（30％未満の達成度である）

次に，ここで出されたA，B，Cの評価をもとに5段階で国語の評定を出します。

- 5…十分満足できると判断されるもののうち，特に高い程度のもの
4…十分満足できると判断されるもの
3…おおむね満足できると判断されるもの
2…努力を要すると判断されるもの
1…努力を要すると判断されるもののうち，一層努力を要するもの

【学習アドバイス】

●「言葉を扱うスキル」を高める練習の場となるのが国語の授業です。

自分から話したり，聞いたり，書いたり，読んだり…「自分から」取り組む気持ちが何より大切です。

●国語の力を高めるために読書が有効とされているので，様々な分野(ジャンル)の本を読むことを勧めます。家庭学習では，予習として，何度も教科書を読んでくるようにしましょう。ある程度内容をつかんでから授業に臨むのとそうでないのとでは，理解に大きな差が出ます。復習は授業の内容をよく思い出しながら，ワークにしっかりと取り組みましょう。

令和 6（2024）年度 社会科 評価・評定について

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

【観点別評価の手順】

（１）下記の３つの観点について、資料をもとに評価する。

① 知識・技能の資料

小テスト、総合考査等

② 思考・判断・表現の資料

ノート、課題発表、提出課題、総合考査等

③ 主体的に学習に取り組む態度の資料

ノート（ワーク）提出、課題発表、グループ学習における態度等

（２）観点別評価は、各観点の合計点をもとに、以下のように A B Cで評価する。

A ＝ 十分に満足できると判断されるもの（70%以上の達成率）

B ＝ おおむね満足できると判断されるもの（70%未満の達成率）

C ＝ 努力を要すると判断されるもの（30%未満の達成率）

【総合評定の決定手順】

3 観点の評価をそれぞれ、Aが3点、Bが2点、Cが1点とし、その合計点で評定する。

5 … 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの

4 … 十分満足できると判断されるもの

3 … おおむね満足できると判断されるもの

2 … 努力を要すると判断されるもの

1 … 一層努力を要すると判断されるもの

【学習アドバイス】

○知識・技能

重要語句または基本的な語句を理解し、その定義（意味）をきちんと理解しよう。また複数の統計や地図、資料を比較し、共通点や相違点に注目して読解・吟味できるようにしよう。

また図書館や ICT で得た情報を取捨選択、整理しグラフや資料を作成するなど、分かりやすくまとめることができるようにしよう。

○思考・判断・表現

学習内容を、時系列・因果関係・目的手段関係などに注目して整理できるようにしよう。

学習内容を自分の言葉に置き直し、文章で表現できるようにしよう。

話し合うときは、筋道を立てて分かりやすく説明することができるようにしよう。

○主体的に学習に取り組む態度

今、世の中や身の回りで起こっていることに興味・関心をもとう。（ニュース・新聞等）

授業では、積極的に発表し、ノートを丁寧に取ると同時に、先生の発言や他者の意見などをメモしよう。また、ノートづくりなど、自主的な学習を進めよう。

提出物などについては、指定された期日に出せるよう計画的に取り組むようにしましょう。

期限後の提出は遅刻扱いとなり**減点**となってしまいますので、忘れ物には注意をしましょう。

令和6（2024）年度 数学科 評価・評価について

【数学科の目標】

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

【観点別評価の方法】

(1) 以下の3つの観点について資料をもとに評価する。

- ① 知識・技能 … 総合考查、単元テスト、小テストなど
- ② 思考・判断・表現 … 総合考查、単元テスト、小テスト、レポートなど
- ③ 主体的に学習に取り組む態度 … 授業中
 - ① 課題解決のために予想を立てる
 - ② 課題を解決するために粘り強く取り組む
 - ③ 学習を振り返る
 - ④ 振り返りを次の課題に生かす

その他 提出物（振り返りシート、ノート、問題集、レポートなど）

(2) 観点別評価は評価材料からの部分点を合計し、A、B、Cで評価する。

- A … 十分に満足できると判断されるもの（70%以上の達成率）
- B … おおむね満足できると判断されるもの（30%以上 70%未満の達成率）
- C … 努力を要すると判断されるもの（30%未満の達成率）

【総合評価の決定手順】

(1) 観点別評価の合計点を100%とし、各観点到しめる割合を

- ① 知識・技能 … 1/3
- ② 思考・判断・表現 … 1/3
- ③ 主体的に取り組む態度 … 1/3 とする。

(2) 各観点的Aを2点、Bを1点、Cを0点とし、その合計点で評価を出す。

- 5 … 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの
- 4 … 十分満足できると判断されるもの
- 3 … おおむね満足できると判断されるもの
- 2 … 努力を要すると判断されるもの
- 1 … 一層努力を要すると判断されるもの

※学年末の評価に関しては、1学期から3学期の総合評価とする。

【評価について】

昨年度から評価の観点到「主体的に学習に取り組む態度」という新しい観点到導入されました。数学への興味・関心を持ち自ら進んで学習することで、より学習理解の定着を目標としています。昨年度同様、今年度も自ら進んで学習している態度を評価していきます。評価の方法については上記に載せていますので確認してください。

【学習のアドバイス】

数学を学習する上で、次の3点を心がけましょう。 ① 理解 ② 練習 ③ 思考

- ① 学習は基礎・基本の定着が必須です。公式や計算のルールなど覚えることも大切ですが、それらがどのような構造になっているのか、どのようにして導かれるのかを考えていくことも理解につながります。
- ② 「わかること」と「できるようになること」は違います。「できるようになる」ためには反復練習が必要です。何度も練習を繰り返す、同じタイプの問題が「できる(解ける)」ようにしていきましょう。
- ③ 基本問題が解けるようになったらその学んだ考え方をさらに深めていきましょう。身に付けた知識を言語化したり、立式を自分の言葉で説明したり、他の方法を考えることによって思考力・判断力が身につきます。また、自分の考えを周りに伝えることで表現力も養われます。

ぜひ数学の楽しさを体験し、ともに学習していきましょう！

令和6年（2024）年度 理科 評価・評定について

【教科の目標】

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

【観点別評価の手順】

1. 観点は次の3観点。各観点の主な評価項目と評価する際の主な方法は下の表のとおりです。

- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

主 観 点	主 観 点	授 業 の 振 り 返 り	観 察 ・ 実 験 レ ポ ー ト	ワ ー ク ノ ー ト	定 期 テ ス ト	パ フ ォ ー マ ン ス テ ス ト	評価する際の主な方法
知識・技能			○	○	○	○	・観察・実験を通して学習した内容を理解し、知識を身につけている。 ・学習した内容を理解し、効率よく活用する方法を身に付けている。 ・観察・実験のための器具、装置を目的に応じて正確に安全に扱うことができる。 ・観察、実験の結果や他の資料によるデータを適切に処理し、図表にしたりグラフ化したりすることができる。
思考・判断・表現		○	○	○	○		・自然の事物・現象の中の共通点や相違点を説明することができる。 ・自然の事物・現象の中に規則性・法則性を見いだすことができる。 ・自然の事物・現象の中に、原因と結果を説明することができる。 ・学習した自然の事物・現象を整理、統合し、新たな考え方をすることができる。 ・学習した自然の事物・現象の中にある規則性・法則性を利用し、他の事物・現象を説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度		○	○	○		○	・自然の事物・現象に関わる知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとすることができる。 ・粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとするすることができる。

2. 観点毎に評価項目の合計点を出し、それをもとにして、次のように目標の達成度をA・B・Cで評価します。

- A = 十分に満足できると判断されるもの（70%以上）
 B = おおむね満足できるとされるもの（30～70%未満）
 C = 努力を要すると判断されるもの（30%未満）

【評定の決定手順】

『ABCにそれぞれ点数をつけて、その合計点で評定する方法』で評定を出します。

4 観点の評価をそれぞれ、Aが3点、Bが2点、Cが1点とし、その合計点で評定する。

- 5 … 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの
- 4 … 十分満足できると判断されるもの
- 3 … おおむね満足できると判断されるもの
- 2 … 努力を要すると判断されるもの
- 1 … 一層努力を要すると判断されるもの

【学習アドバイス】

理科は実験や観察を中心に授業を進めます。実験観察をしっかり行い、観察・実験レポートには結果だけではなく自分の考えで考察をまとめましょう。考えることで科学的な思考が深まっていきます。復習をきちんと行い、ワークなどを使って基礎的な知識を定着させましょう。

令和 6(2024)年度 音楽科 評価・評定について

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

【観点別評価の手順】

(1) 音楽科の観点は以下の3つであり、観点ごとに設定した基準で評価します。

① 知識・技能

・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。

➡(総合考査等)

・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

➡(授業内実技、実技テスト等)

② 思考・判断・表現

・(A)音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、(B)どのように表すかについて思いや意図をもったり、(C)音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

➡(A)(B)歌唱・器楽・創作(授業内実技、実技テスト、ワークシート等)

➡(A)(C)鑑賞(紹介文、鑑賞文、ワークシート等)

③ 主体的に学習に取り組む態度

・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を親しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。

➡(授業の取り組み態度・提出物等)

(2) 観点ごとに合計点を出し、次のような評価を行います。

A=観点のねらいの実現実況が十分満足できると判断されるもの 各項目70%以上の達成率

B=観点のねらいの実現実況がおおむね十分満足できると判断されるもの 各項目30%以上の達成率

C=観点のねらいの実現実況に努力が必要と判断されるもの 各項目30%未満の達成率

【総合評価】

上記 A、B、C の観点別評価をもとに5段階で総合的な評価を出します。

【アドバイス】

自分なりに楽曲のよさを見いだせるように毎時間の授業を大切にし、積極的かつ自主的に活動しましょう。

令和6(2024)年度 美術科 評価・評定について

【1】 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【2】 観点別評価の項目

- (1) 美術科の観点は以下の3つであり、観点ごとに設定した基準で評価します。
- (2) 評価について
作品、課題、レポート、ミニテスト（総合考査）、授業態度、活動の様子（準備、片付け含む）を基に次のように評価します。

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。（70%以上の達成率）
	B	おおむね満足できる状況である。（30%以上70%未満の達成率）
	C	努力を要する状況である。（30%未満の達成率）

【3】 総合評定

- 各観点の最終的なABCの組み合わせで総合評定1～5を算出します。
(例：AAA⇒5 AAB⇒4 AAC, ABB, ABC, ACC⇒3)

観 点	評 価 項 目
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 ・絵を描いたり物を作ったりすることに関心を持ち、意欲的に制作に取り組むことができる。 ・形や色の構成を工夫することができる。
思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 ・資料や参考作品、試作品をもとに想像力を働かせ、作品の構想をすることができる。 ・アイディアスケッチを基に、試作品、本作品へと作品制作のながれを理解、確認することができる。 ・自身や他者の作品を見て感じたことを論理的に説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 ・美術作品や美術の歴史などに親しみ、その良さや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、想像力の豊かさなどを感じ取ることができる。 ・静かに集中して制作することができる。 ・作品や課題を完成させ、期限内に提出をすることができる。

【学習のアドバイス】

美術は評価が曖昧な教科だと思われがちですがそのようなことはありません。以下のことに注意して自分の創造的な感性を伸ばしていきましょう。

- ①しっかり先生の説明を聞く。そこに制作のヒントがたくさん含まれています。
- ②よく参考作品を見る。参考作品であるということは参考にすべき点が必ずあるということです。
- ③説明を聞き、参考作品を見たうえで、自分なりに考え、オリジナリティのある表現を目指す。もちろん、先生の説明や、参考作品をそのまま真似するだけでは良いものではありません。
- ④あきらめない。うまくいっていないように見える作品も必ずうまくいく道があります。あきらめる前に先生にアドバイスを求めましょう。
- ⑤課題はすべて完成させ、提出する。
- ⑥授業準備、後片づけをきちんとする。
- ⑦提出期限は必ず守る。

GoogleClassroom を使って、大切な課題や持ち物などの連絡をしていきます。必ず授業の前に確認するようにしておきましょう。Classroom の ID は各学年の ID 一覧から確認しましょう。

美術は週に約 1 回の授業数です。毎回の授業が貴重ですので授業は最初から最後まで懸命にとりくみましょう。

2024年度 保健体育科 評価・評定について

【保健体育科の目標】

運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。また、イメージング授業により、英語力の向上を図る。

【観点別評価】

(1) 以下の観点ごとに評価をする。

- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

(2) 観点ごとの達成度を以下のようにA、B、Cで評価する。

- A … 達成度70%以上 (十分に満足できると判断されるもの)
- B … 達成度30%以上70%未満 (おおむね満足できると判断されるもの)
- C … 達成度30%未満 (努力を要すると判断されるもの)

(3) 観点ごとの達成度は、以下のものから算出する。

- ① 知識・技能
→定期考査、小テスト、スキルテスト、ゲーム中の動き など
- ② 思考・判断・表現→振り返りシート、保健プリント など
- ③ 主体的に学習に取り組む態度
→安全に関わる準備や片付け、授業中の規律、活動中のコミュニケーションの取り方、見学レポートの内容、粘り強く取り組むことができる姿勢 など

【評定】

(1) 各観点のAを3点、Bを2点、Cを1点とし、その合計点で5～1の評定を算出する。

- 5 … 合計点9 (十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの)
- 4 … 合計点8 (十分満足できると判断されるもの)
- 3 … 合計点5～7 (おおむね満足できると判断されるもの)
- 2 … 合計点4 (努力を要すると判断されるもの)
- 1 … 合計点3 (一層努力を要すると判断されるもの)

(2) 評定算出における各観点の割合はすべて同じであり、特定の観点を重視することはしない。

【学習アドバイス】

「あたりまえのことをあたりまえに」が基本です。欠席、見学、忘れ物、授業中の規律、提出物など、努力でカバーできる部分に全力で取り組みましょう。スキルテストや定期考査に向けた準備も、入念に行いましょう。

令和6（2024）年度 技術・家庭科 評価・評定について

①教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

【分野ごとの目標】

<技術>

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成および情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりにいて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

<家庭科>

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。(Aim through a mixture of practical work and theory lessons, topics about food, nutrition, clothing and sewing are covered during Home Economics lessons. Basic knowledge of domestic science necessary for future well-being and family life are to be achieved.)

②観点別評価

以下の【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点について、技術と家庭科の評価項目を合計し、A、B、Cの3段階で評価します。

観点別評価	評価規準	評価対象
知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技術を身に付けている。	・製作作品 ・実技テスト ・総合考査 ・課題
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・製作作品 ・レポート ・総合考査 ・課題
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・授業態度 ・製作活動 ・課題 ・準備物

A = 十分に満足できると判断されるもの (70%以上の達成度とする)

B = おおむね満足できると判断されるもの (70%未満30%以上の達成度とする)

C = 努力を要すると判断されるもの (30%未満の達成度とする)

③総合評価

上記の A, B, C の観点別評価をもとに5段階で総合的な評価を出します。

④学習アドバイス(learning advice)

<技術>技術の見方・考え方は「技術の最適化」です。扱っている技術について、社会からの要求、経済性、安全性、環境への配慮の4側面から考えたとき、プラス面とマイナス面がそれぞれ何になるのか、その結果、どのような設計・製作（制作）を行ったのか、自分の考えを多角的な視点で説明できるようにしましょう。また、課題の締切は厳守です。技術において、締切は「時間的制約条件」のひとつです。

<家庭科>家庭科の学習は自分にとって、家族にとって、社会にとってよりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付けることを目標としています。

自分たちの生活から問題点を見つけ、どのような方法や手段で解決できるのか試行錯誤し、必要な知識や技術を身に付け、実際の生活で生きる力を身に付けていきましょう。学習に必要な物を忘れないようにしましょう。締め切りの期限を守り、工夫して仕上げましょう。

Home economics study aims to acquire the qualities and abilities to plan out and create a better life for oneself, one's family and society.

Find problems in one's own life, make trial and error on how to solve them, acquire necessary knowledge and skills, and acquire the ability to live a real life. Never forget to bring what you need to class.

Keep the deadline and think about the outcome.

令和6（2024）年度 英語科評価・評価について

英語科

1 英語科の目標

- （1）英語を聞いたり読んだりして、様々な情報や考え方などを理解する力を身に付けさせる。
- （2）場面や目的に応じて、英語を書く力や話す力を身につけるとともに積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- （3） 場面や目的に応じて、英語を書く力や話す力を身に付け、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- （4）世界へ視野を広げ、国際人として活躍できる生徒を育てる。

2 観点別評価の手順

（1）3 観点

- ①知識・技能
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

（2）評価材料

観点	評価材料
知識・技能	・ 総合考査 ・ 単元テスト ・ スピーキングテスト ・ 授業中の「聞く・読む」を中心とした活動 ・ 課題（Google Classroom で提出するエッセイなど）
思考・判断・表現	・ 総合考査 ・ 単元テスト ・ スピーキングテスト ・ 授業中の「話す・書く」を中心とした活動（プレゼンテーションなど） ・ 課題（Google Classroom で提出するエッセイなど）
主体的に学習に取り組む態度	・ 授業への取組（授業態度、コミュニケーション活動への取組等） ・ 課題（Google Classroom で提出するエッセイなど） ・ 提出物（ワーク 2 冊・ノート）

(3) 観点別評価は評価材料からの部分点を合計し、A、B、Cで評価します。

A . . . 十分に満足できると判断されるもの (70%以上の達成率)

B . . . おおむね満足できると判断されるもの (30%以上 70%未満の達成率)

C . . . 努力を要すると判断されるもの (30%未満の達成率)

3 総合評定の決定手順

(1) 5段階で評定をつける。

5 . . . 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの

4 . . . 十分満足できると判断されるもの

3 . . . おおむね満足できると判断されるもの

2 . . . 努力を要すると判断されるもの

1 . . . 一層努力を要すると判断されるもの

(2) 観点別評価から5段階評定をつける方法

各観点をそれぞれ1:1:1の割合とします。観点による重み付けはしません。

4 学習アドバイス

- ・授業中に先生や友達の話す英語をよく聞き、理解するように努めましょう。単語を拾いながら聞いているうちに、必ず聞き取れるようになります。
- ・授業中は日本語は使わず、英語で話しましょう。教科書の音読、先生や友達への質問、質問への答え、アクティビティなど、授業中の多くの場면을「英語を使う機会」ととらえ、積極的に参加しましょう。
- ・分からないところはまず自分で調べ、それでも分からない場合は先生に質問し、疑問点はその日のうちに解決していきましょう。答えだけを求めるのではなく、調べ方を学ぶことが大切です。
- ・授業の復習を家庭で十分に行い、単語や文法など正確に覚えるよう努めましょう。